

論文内容要旨

報告番号	甲 総 第 7 号	氏名	清水 勇吉
学位論文題目	テキストマイニングによる日本語コーパス分析に関する研究		
<p>内容要旨 和文1,000字～1,500字</p> <p>本論文は、日本語学という領域に、分析手法の一つであるテキストマイニングを取り入れることを目的とした研究である。本論文にて「種々のテキストデータを計量的に加工・分析するための手法」と定義したテキストマイニングで、これまで日本語学で扱われることの少なかった自由回答形式のテキストデータの分析をおこない、そこから見出される新たな知見を得る。</p> <p>全体の序論として、第1章「本論文の目的と意義」において、日本語学分野で扱われるテキストデータに対して、テキストマイニングをおこなう目的と意義について述べ、第2章「テキストマイニングとは」では、テキストマイニングそのものについて、詳述した。</p> <p>本論の第1部とした第3章～第6章では広く一般的なテキストデータを対象とした分析を主におこない、本論第2部とした第7章～第11章では、「飲み会に誘われましたが、断らなければなりません。どのように言って断りますか。」といった、「断りの場面」を設定し、調査側が提示した場面に対する反応としての自由回答の分析を中心に進めた。</p> <p>第3章、第4章では、討論や演説という、公の場での談話を対象にその傾向を探ることとし、第3章「国会議事録を分析する」では国会議事録のテキスト化されたものを一つのコーパスと見做し、検索・分析をおこなった。第4章「就任時所信表明演説から社会情勢を知る」では複数名の内閣総理大臣の就任時所信表明演説のテキストデータを分析することで、各時期の社会情勢の特色についておれた。第5章、第6章では、主に患者の医療機関に対する意識・関心をみるために、患者の自由回答形式のコメントの集合を分析するものとして、第5章「人々の口コミから病院に対する意識を探る」では口コミサイトに公開されている各コメントから、病院に対するニーズや、注目されている点を明らかにしている。本論文の主論文である第6章「患者の歯科医院に対するフリー・コメントのテキストマイニングによる分析」では、徳島県で実施された歯科医院に対する意識のアンケート調査の中から自由回答を集計し、患者の関心の対象を探った。アンケート調査から収集した大量の自由回答を、日本語学を基盤としていかに分析するかを示している。</p> <p>また、既に刊行・公開されているデータを扱うものとして、第7章「『敬語と敬語意識』を分析する」で、過去に愛知県岡崎市にて調査された言語資料を対象に、各場面について回答者の待遇的ストラテジー（方略）の示し方をみた。第8章、第9章では、日本語母語話者を対象に、断り方に関する表現方法などを分析する。第8章「誘いに対する断り表現」では誘われた場面における断り方、第9章「依頼に対する断り表現」では依頼される場面における断り方を、それぞれ性別の差や相手の立場の上下の観点から、回答者の特徴を見出した。また、それを発展させ、第10章「日本・韓国・中国における依頼に対する断り表現」では、日本以外に韓国、中国のデータも加え、三国間の特徴とその差異を明らかにした。</p> <p>第11章「結論」にて本研究全体の結論を述べており、自由回答形式のテキストデータや、方言資料へのテキストマイニングという手法の適用とその可能性に関して言及している。</p> <p>以上、多種多様な性格を持つテキストデータの分析事例を挙げ、日本語学の視点を以てテキストマイニングをおこなうことの有効性を示したものである。</p>			